

IFRS news

キャノンストリート・プレス

－開示に関する取組み

October 2015

開示に関する取組み

開示原則

2015年9月に国際会計基準審議会 (IASB) は、基準における開示の要求事項のドラフティング (起草) に対する新しいアプローチについて引き続き議論しました。IASBは、精緻化されたアプローチ案に賛成し、示されている章の草案を「開示原則」ディスカッション・ペーパーに含めることを暫定的に決定しました。

財務活動から生じる負債の調整表

IASBは、IAS第7号「キャッシュ・フロー計算書」の修正案の公開草案 (ED) に対するフィードバックについて議論するとともに、次のことを基準の中で明確化すること条件として、IAS第7号の修正をEDで提案したとおり進めることを暫定的に決定しました。

- 開示要求についての目的
- どのような情報がどの程度まで必要とされるのかを決定するための柔軟性を企業が有している旨

現金に関する制約

IASBは、企業の流動性を理解するために関連性のある情報の開示要求について議論を開始しており、次回の会議でも引き続き審議を行う予定です。

© 2015 PwC. All rights reserved.
PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.
This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.



当該和訳は、英文を翻訳したものですので、和訳はあくまでも便宜的なものとして利用し、適宜、英文の原文を参照していただくようお願いします。